

# モジャコ情報 (令和2年2月臨時調査)

調査期間：令和2年2月19, 20日

鹿児島県水産技術開発センター

調査船：おおすみ 67t

令和2年2月25日発行

調査海域：屋久島, 種子島, 大隅

## 【海況】・・・“著しく低め”から“著しく高め”

- ・黒潮北縁域は竹島の南1.5マイルにある(2月18日現在)。
- ・定期船による観測では、黒潮流域(2月18日現在)で20.6℃(著しく低め), 薩南海域(2月18日現在)で20.0℃(平年並), 西薩海域(2月18日現在)で17.7℃(著しく高め)であった。

※平年値は、昭和56年から平成22年までの平均値。

## 【調査結果】

### (1) 流れ藻の分布

- ・流れ藻の視認個数は1.0個/10マイルであった。
- ・採集した流れ藻重量は6.5kg(1個のみ)であった。

### (2) モジャコの付着状況

- ・流れ藻1kg当たりの付着尾数は0.2尾であった。

### (3) モジャコの大きさ

- ・採捕したモジャコの全長は36mm(1個体のみ)であった。

表 調査結果

海域	流れ藻視認個数	調査マイル数	10マイル当り流れ藻個数	モジャコ付着尾数	流れ藻重量(kg)	1kg当り付着尾数	平均全長(mm)
大隅	2	46.9	0.4	1	6.5	0.2	36.0
種子島	9	49.5	1.8	-	-	-	-
屋久島	9	106.0	0.8	-	-	-	-
南薩	-	-	-	-	-	-	-
西薩	-	-	-	-	-	-	-
全海域	20	202.4	1.0	1	6.5	0.2	36.0

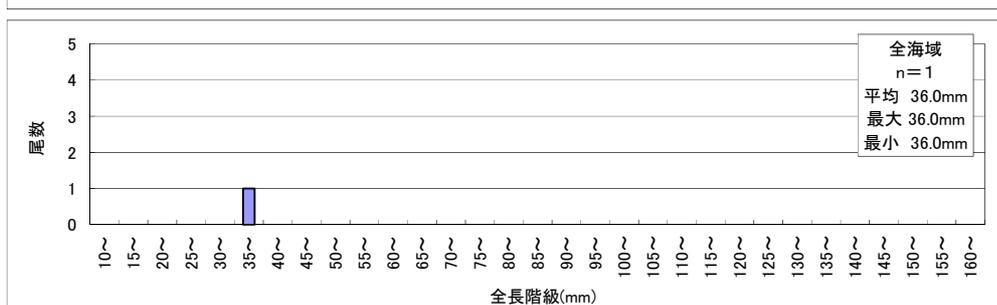
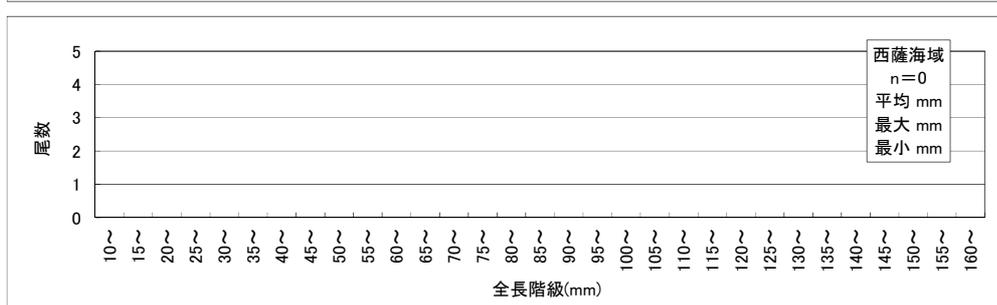
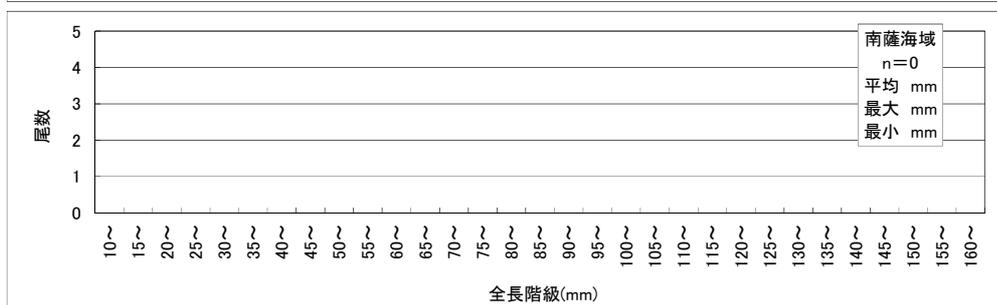
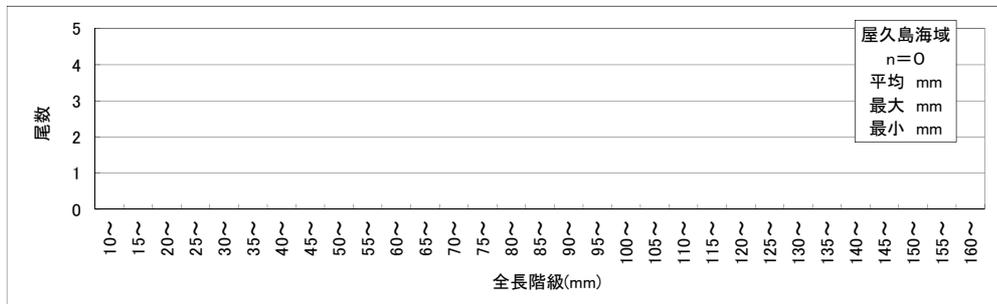
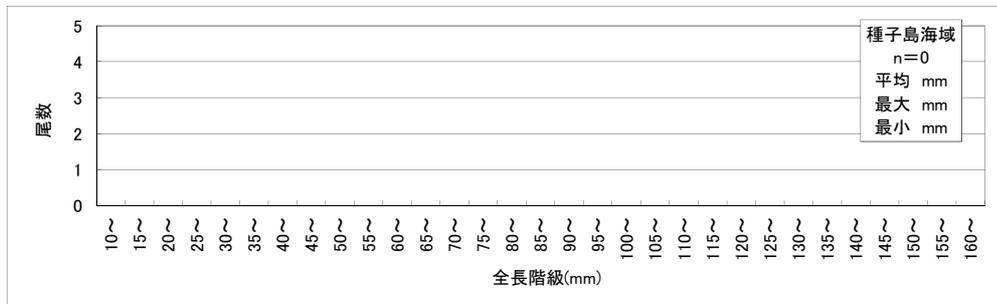
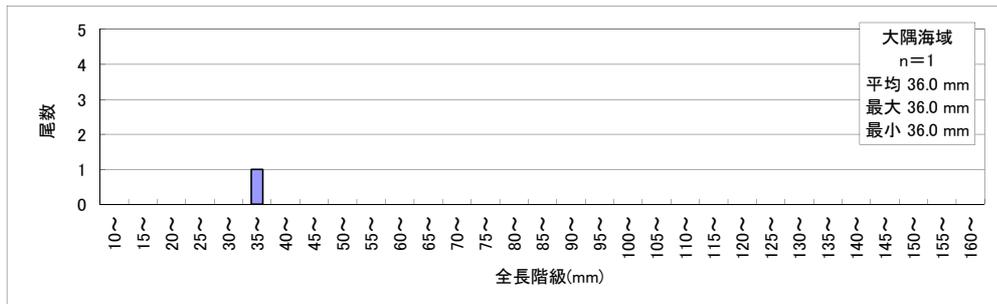
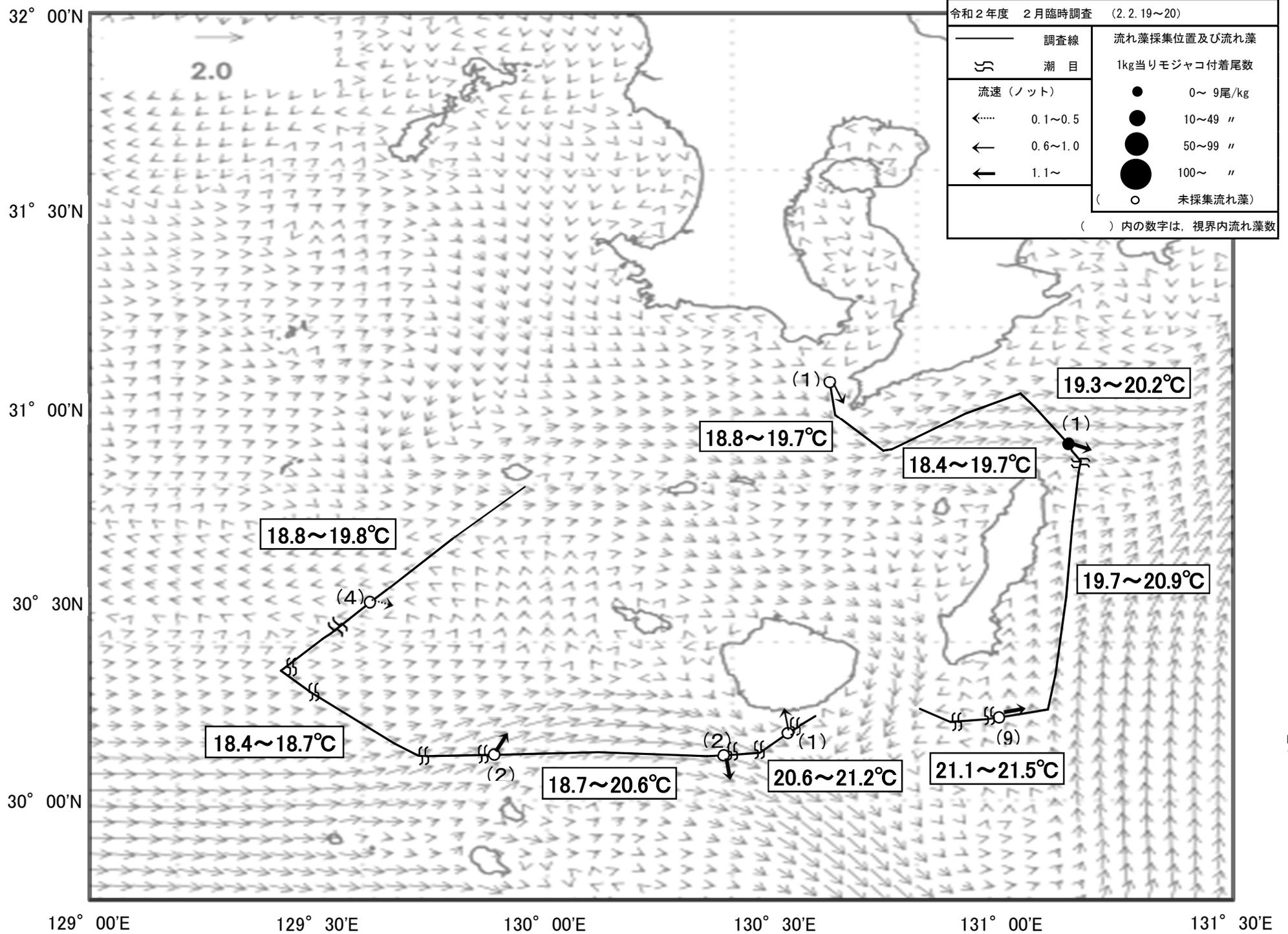


図1 採捕したモジャコの海域別全長組成(令和2年 2月臨時調査)



(海流は、鹿児島大学工学部発表の令和2年2月19日09:00の海流図(DR\_E\_FORE)による)